

Contents 目次

編集方針

【読者対象】

本レポートは、お客様、株主・投資家、従業員、仕入先(サプライヤー)、行政、地域社会の方々など、さまざまなステークホルダーを読者対象としています。

【2005年度版の特徴】

本レポートは、国内外の村田製作所グループ(以下「ムラタ」)における環境保全活動および社会的活動に関して、基本的な方針、主に2004年度の実績ならびに今後の計画を報告するものです。

本レポートのタイトルを、昨年度の「社会環境報告書」から「CSRレポート」に変更しました。ムラタの事業活動における社会的責任(Corporate Social Responsibility)は何かを、幅広い視点からとらえ、編集しています。

本レポートの作成にあたっては、環境省発行の「環境報告書ガイドライン(2003年度版)」、GRI(Global Reporting Initiative)の「持続可能性報告のガイドライン2002」などを参考にしました。

本レポート内では、主なデータのみを掲載しています。その他の詳細なデータについては、本誌に付属している別冊の『CSR Report Performance Data』をご覧ください。なお、別冊データ集の掲載項目は、本報告書の各ページに記載しています。

DATA

【対象範囲】

株式会社村田製作所および国内外の子会社を対象としています。

ただし、各種の環境データに関しては、とくに注記のない場合は、P.42「主な拠点」の印を付した株式会社村田製作所および国内外の生産子会社を対象としています。また、各事業所別の環境データをWEBサイトで公開しています。

<http://www.murata.co.jp/>

【対象期間】

2004年度(2004年4月1日～2005年3月31日)

ただし、一部、2003年度以前ならびに2005年度以降の取り組みや計画を記載している部分もあります。

お問い合わせ先

株式会社村田製作所 総務部広報課
TEL: 075-955-6786(ダイヤルイン)
FAX: 075-955-6526
E-mail: env@murata.co.jp

次回のCSRレポート発行予定は、2006年6月頃です。

会社概要	1
編集方針	2
対談	3

特集

新たな可能性を持つ 素材・部品の開発	5
-----------------------	---

製品の ライフサイクルにおける 環境負荷の削減	7
-------------------------------	---

従業員の能力の向上	9
-----------	---

コーポレート・ガバナンス	11
コンプライアンス	12
リスクマネジメント	13
ステークホルダーとの関係	14

経済性報告 Economic Review

ステークホルダーとの経済的關係	15
-----------------	----

環境報告 Environmental Review

ムラタ環境憲章	17
環境経営	19
環境負荷の全体像	21
開発・設計	23
調達	25
製造	26
物流	31
環境コミュニケーション	32

社会性報告 Social Review

お客様とのかかわり	33
従業員とのかかわり	35
仕入先(サプライヤー)とのかかわり	39
社会・地域とのかかわり	40
第三者コメント	41
主な拠点	42